



しののめYMCAこども園

園だより

2020年度2月号
発行者こども園園長 堀江和広

聖句「互いに愛し合いなさい」

わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。
これがわたしの掟である。

2月聖句 愛は、すべてを完成させるきずなです。

コロサイの信徒への手紙3章14節

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けながら始まった今年度も、残すところあとわずかとなりました。この時期は毎年、進級進学に向けて準備をする時期として位置づけ、保育を展開しています。

進級、進学にあたり毎年大切にしている事は、何かひとつ自分自身で、好きな事や興味あることを見つけ、挑戦する事や、続けてみる事により「自信」を持ち、その事をきっかけとして「自己肯定感」を培い養う事です。

先日行われた「子育て講演会」(東京YMCA主催)で、講師の先生が自己肯定感の大切さについてお話をされました。その中でも、自分自身に「自信」を持ち、しっかりと自己表明をする事が大切であり、その源は「自信」を持つ事であると語られました。乳児が泣く事や、何を言っても「嫌！いや！」と言う、通称「いやいや期」も、そして成長が著しい幼児期においてみられる反抗期も、自己表明であり自分を認めて欲しいと言う、立派な自己肯定感であるとお話されました。

然しながらこどもの成長に伴い、私達大人は、いつの間にか他者との比較をするようになります。その内容は、日常の行動のなかに多くあります。なぜできないの？なぜわからないの？これはよくある会話であり光景です。

自己肯定感を培う上で、大切な事は「自信」を持つ事であり、持たせることです。比較する事がすべていけない事ではないと思います。然しながら、その事により、自信を無くしたり、失わせる事があってはならないと思います。私達大人の行動やひと言が、こども達の成長に大きく影響を与える事を改めて考えたいと思います。

誰もが笑顔と自信に満ち溢れ、進級、進学を楽しみ迎えられよう、今後も保育展開をして参りたいと思います。今後どうぞよろしくお願い申し上げます。 園長 堀江和広